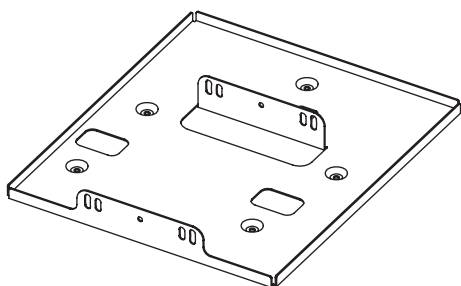


工事説明書

天つり金具用プロジェクター取り付け金具

品番 **ET-PAD310**



もくじ

安全上のご注意	2
金具の構成	4
取り付け工事寸法	5
取り外し方	9
プロジェクターを取り外す	9
取り付け方	10
プロジェクターへの金具の取り付け	10
プロジェクターをつり下げる	11
設置角度の調整	13
天井への落下防止セットの取り付け	15
仕様	15

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■お客様へ

この「工事説明書」は、工事業者様用です。取り付け工事は必ず、工事専門業者にご依頼ください。
また、工事完了後は、この「工事説明書」を工事業者様よりお受け取りの上、保存いただきますよう、お願いします。
移設、撤去の際には、この「工事説明書」を工事業者様にお渡しの上、ご依頼ください。

■工事業者様へ

この「工事説明書」をよくお読みの上、正しく安全に工事を行ってください。
また、2～3ページの、「安全上のご注意」は、重要な内容ですので、必ずお読みください。
工事完了後は、この「工事説明書」をお客様にお渡しいただき、保存いただきますよう、お願いします。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

■ 天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者あるいは購入店に依頼する



工事の不備により、大きな事故の原因となります。

- 本書の指定された「取り付けかた」に従って確実に施工してください。

■ 天つり金具のねじは、不用意に取り外したり、ゆるめたりしない



プロジェクターが落下して、けがの原因となります。

禁止

■ 強度の不足する場所に取り付けない



落下などによるプロジェクターの破損や、大きな事故・けがの原因となります。

禁止

■ 取り付け作業は足場の安全を確保して行う



倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 取り付け場所の構造、材質に合った工事を行う



工法を誤ると天つり金具が落下してけがの原因となります。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない



火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下するおそれがあります。

禁止

■ 付属の金具やねじ類は、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

禁止

■ 取り付け・設置作業は2人以上で行う



本機はプロジェクターを含めると30 kg以上となります。取り付け・設置作業は2人以上で行ってください。

■ 天つり金具を分解したり、改造しない



こわれたり落下してけがの原因となります。

分解禁止

安全上のご注意（つづき）

注意

- 指定のプロジェクター以外は取り付けない
- 指定の方法以外の取り付けは行わない
- 取り付け金具は、横、斜め、上下逆に取
り付けない



落下したり、破損してけがの原因に
なります。

禁止

- プロジェクターの吸・排気をさまたげる場
所に設置しない



火災の原因となることがあります。

禁止

- プロジェクター本体や天つり金具にぶら
下がったり、ものをぶら下げたりしない
プロジェクター本体が落下してけが
の原因となることがあります。



禁止

- 取り付けの際は、必ず付属の構成部品を
使用する



こわれたりプロジェクターが落下し
てけがの原因になります。

- 取り付けねじや電源コードが天井内部の
金属部と接触しないように設置する



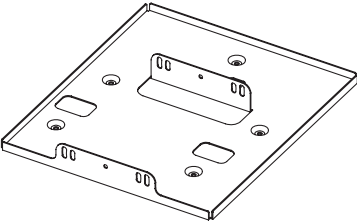

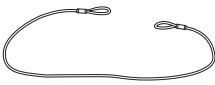


天井内部の金属部と接触して、感電
の原因となることがあります。

金具の構成

本製品はプロジェクターを天井からつり下げて設置する際の金具です。

■ 対応天つり金具 ET-PKD77H,ET-PKD75S,TY-PKD75S,ET-PKD100H,ET-PKD100S,ET-PKD56H,ET-PKD55S,TY-PKD55S

■ 構成部品一覧

品名	外観(数量)	用途
プロジェクター 取り付け金具	 1 個	本金具にプロジェクター本体を取り付け、設置済みの天つり金具に装着します。左右傾きの調整機能があります。
ねじ類	 座金組み込み六角ボルト (M6 × 16) 5 本	プロジェクター取り付け金具のプロジェクターへの取り付けに使用します。
落下防止セット	 ワイヤーロープ 2 本  M8 平ワッシャー 4 個  ワイヤーロープ固定ねじ (座金組み込みねじ (M6 × 20)) 2 本	プロジェクターの落下防止のために使用します。

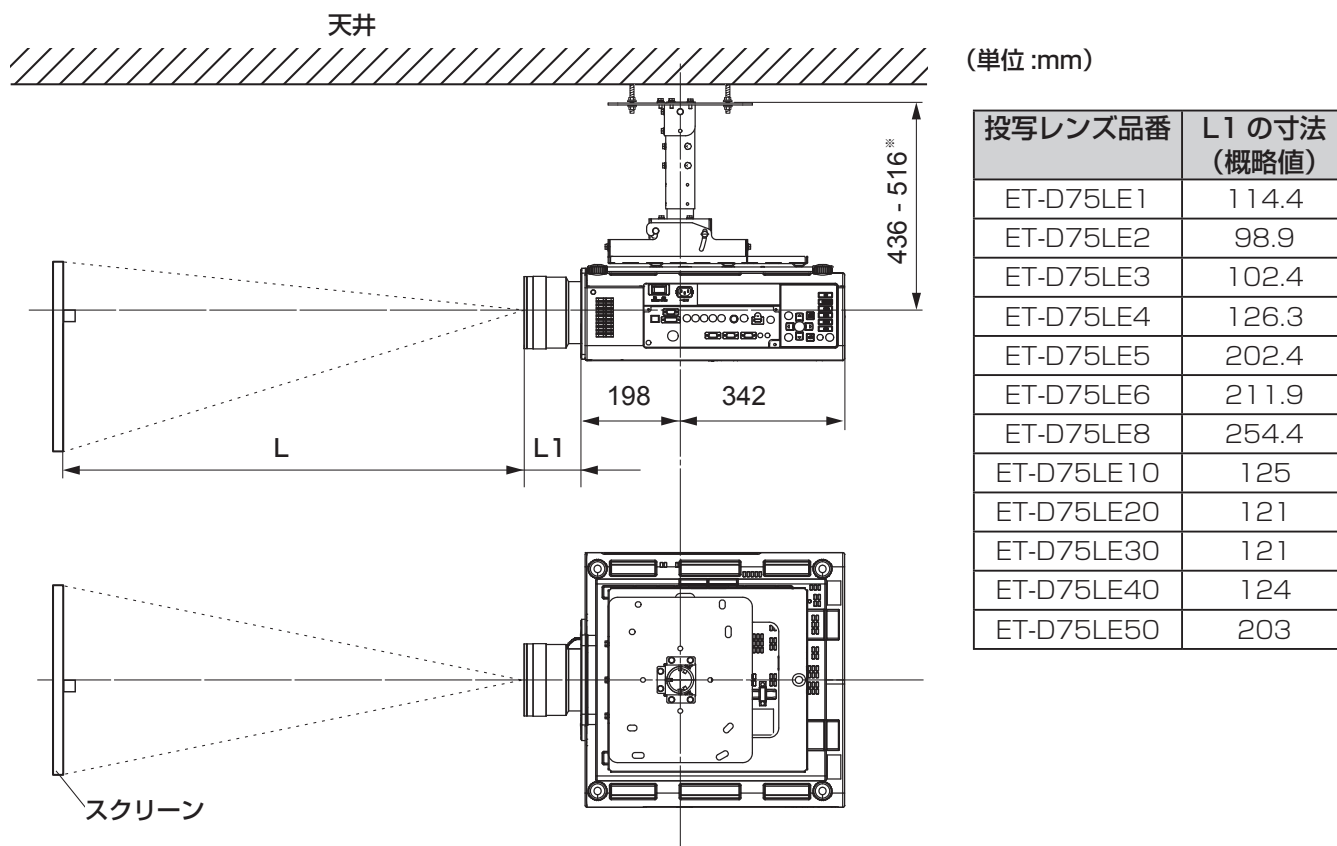
■ 下記部品をご用意ください。(市販品)

工事内容	必要な部品	ページ
落下防止セットの取り付け (ボルト径：M8)	アンカーナットまたはカールプラグ (M8 (または 5/16")) (2 個)、六角ボルト (2 本)、スプリングワッシャー (2 個)	15

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ねじ類の締めつけトルクは、M6: $4 \pm 0.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ 、M8 (および 5/16"): $10 \pm 1 \text{ N}\cdot\text{m}$ で管理してください。
- ねじ類の取り付けの際は、トルクドライバーやトルクレンチなどを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 使用を終了した金具は工事の専門技術者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。

取り付け工事寸法

スクリーンとプロジェクター間の投写関係寸法は以下の通りです。
 レンズのズーム機能により投写距離が調整できます (ET-D75LE5 / LE50 を除く)。
 投写画面を確認しながら微調整を行ってください。



※本図は高天井金具 ET-PKD77H での施工例です。
 ※低天井金具 ET-PKD75S、TY-PKD75S の場合は、205 mm となります。

お願い

- プロジェクター本体を後面の排気口をふさがないように 500 mm 以上のすき間をあけて設置してください。
- プロジェクター本体の左右に 300 mm 以上のすき間をあけて設置してください。
- ET-PKD100H/ET-PKD77H からの取り換えの場合は、プロジェクターの投写レンズの焦点が、プロジェクターの後方から見て右に 54 mm 移動します。

取り付け工事寸法 (つづき)

■投写レンズごとの投写距離

投写レンズ (別売品) の投写距離は、プロジェクター本体の取扱説明書「設置する」をご覧ください。
 または、使用するスクリーンの対角寸法 (m) をご確認のうえ、以下計算式で投写距離を求めてください。

単位：m

投写レンズ品番 (スローレシオ)	アスペクト比	PT-DZ13K / PT-DZ10K / PT-DZ8700		
		投写距離 (L) 計算式		
		最短	最長	
ズーム レンズ	ET-D75LE1 (1.4-1.8:1)	16:10	$L = 1.1732 \times \text{対角 (m)} - 0.0760$	$L = 1.5709 \times \text{対角 (m)} - 0.1004$
		16:9	$L = 1.2087 \times \text{対角 (m)} - 0.0760$	$L = 1.6142 \times \text{対角 (m)} - 0.1004$
	(1.6-2.2:1)	4:3	$L = 1.3307 \times \text{対角 (m)} - 0.0760$	$L = 1.7756 \times \text{対角 (m)} - 0.1004$
	ET-D75LE2 (1.8-2.8:1)	16:10	$L = 1.5748 \times \text{対角 (m)} - 0.0795$	$L = 2.3661 \times \text{対角 (m)} - 0.1064$
		16:9	$L = 1.6220 \times \text{対角 (m)} - 0.0795$	$L = 2.4291 \times \text{対角 (m)} - 0.1064$
		4:3	$L = 1.7835 \times \text{対角 (m)} - 0.0795$	$L = 2.6772 \times \text{対角 (m)} - 0.1064$
	ET-D75LE3 (2.8-4.6:1)	16:10	$L = 2.3661 \times \text{対角 (m)} - 0.0958$	$L = 3.9488 \times \text{対角 (m)} - 0.1216$
		16:9	$L = 2.4291 \times \text{対角 (m)} - 0.0958$	$L = 4.0591 \times \text{対角 (m)} - 0.1216$
		4:3	$L = 2.6772 \times \text{対角 (m)} - 0.0958$	$L = 4.4724 \times \text{対角 (m)} - 0.1216$
	ET-D75LE4 (4.6-7.4:1)	16:10	$L = 3.9488 \times \text{対角 (m)} - 0.1158$	$L = 6.2795 \times \text{対角 (m)} - 0.1013$
		16:9	$L = 4.0591 \times \text{対角 (m)} - 0.1158$	$L = 6.4528 \times \text{対角 (m)} - 0.1013$
		4:3	$L = 4.4724 \times \text{対角 (m)} - 0.1158$	$L = 7.1102 \times \text{対角 (m)} - 0.1013$
	ET-D75LE8 (7.3-13.8:1)	16:10	$L = 6.2795 \times \text{対角 (m)} - 0.3862$	$L = 11.7677 \times \text{対角 (m)} - 0.3598$
		16:9	$L = 6.4567 \times \text{対角 (m)} - 0.3862$	$L = 12.0945 \times \text{対角 (m)} - 0.3598$
		4:3	$L = 7.1102 \times \text{対角 (m)} - 0.3862$	$L = 13.3189 \times \text{対角 (m)} - 0.3598$
	ET-D75LE6 (0.9-1.1:1)	16:10	$L = 0.7913 \times \text{対角 (m)} - 0.0566$	$L = 0.9488 \times \text{対角 (m)} - 0.0736$
		16:9	$L = 0.8150 \times \text{対角 (m)} - 0.0566$	$L = 0.9764 \times \text{対角 (m)} - 0.0736$
		4:3	$L = 0.8976 \times \text{対角 (m)} - 0.0566$	$L = 1.0748 \times \text{対角 (m)} - 0.0736$
	ET-D75LE10 (1.3-1.7:1)	16:10	$L = 1.1186 \times \text{対角 (m)} - 0.0857$	$L = 1.4458 \times \text{対角 (m)} - 0.1085$
		16:9	$L = 1.1497 \times \text{対角 (m)} - 0.0857$	$L = 1.4860 \times \text{対角 (m)} - 0.1085$
4:3		$L = 1.2663 \times \text{対角 (m)} - 0.0857$	$L = 1.6367 \times \text{対角 (m)} - 0.1085$	
ET-D75LE20 (1.7-2.4:1)	16:10	$L = 1.4312 \times \text{対角 (m)} - 0.0832$	$L = 2.0795 \times \text{対角 (m)} - 0.1162$	
	16:9	$L = 1.4709 \times \text{対角 (m)} - 0.0832$	$L = 2.1373 \times \text{対角 (m)} - 0.1162$	
	4:3	$L = 1.6202 \times \text{対角 (m)} - 0.0832$	$L = 2.3542 \times \text{対角 (m)} - 0.1162$	
ET-D75LE30 (2.4-4.7:1)	16:10	$L = 2.0647 \times \text{対角 (m)} - 0.1131$	$L = 4.0041 \times \text{対角 (m)} - 0.1765$	
	16:9	$L = 2.1221 \times \text{対角 (m)} - 0.1131$	$L = 4.1155 \times \text{対角 (m)} - 0.1765$	
	4:3	$L = 2.3374 \times \text{対角 (m)} - 0.1131$	$L = 4.5330 \times \text{対角 (m)} - 0.1765$	
ET-D75LE40 (4.6-7.4:1)	16:10	$L = 3.9532 \times \text{対角 (m)} - 0.1577$	$L = 6.3027 \times \text{対角 (m)} - 0.1615$	
	16:9	$L = 4.0631 \times \text{対角 (m)} - 0.1577$	$L = 6.4779 \times \text{対角 (m)} - 0.1615$	
	4:3	$L = 4.4754 \times \text{対角 (m)} - 0.1577$	$L = 7.1351 \times \text{対角 (m)} - 0.1615$	
固定 焦点 レンズ	ET-D75LE5 (0.7:1)	16:10	$L = 0.6063 \times \text{対角 (m)} - 0.0835$	
		16:9	$L = 0.6220 \times \text{対角 (m)} - 0.0835$	
	(0.8:1)	4:3	$L = 0.6850 \times \text{対角 (m)} - 0.0835$	
	ET-D75LE50 (0.7:1)	16:10	$L = 0.6072 \times \text{対角 (m)} - 0.0713$	
		16:9	$L = 0.6240 \times \text{対角 (m)} - 0.0713$	
	(0.8:1)	4:3	$L = 0.6873 \times \text{対角 (m)} - 0.0713$	

お知らせ

- 上記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。
- 「幾何学歪補正」、「台形補正」時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

取り付け工事寸法 (つづき)

単位：m

投写レンズ品番 (スローレシオ)		アスペクト比	PT-DS12K / PT-DS8500	
			投写距離 (L) 計算式	
			最短	最長
ズーム レンズ	ET-D75LE1 (1.5-2.0:1)	4:3	$L = 1.2087 \times \text{対角 (m)} - 0.0760$	$L = 1.6142 \times \text{対角 (m)} - 0.1004$
		16:9	$L = 1.3150 \times \text{対角 (m)} - 0.0760$	$L = 1.7559 \times \text{対角 (m)} - 0.1004$
	ET-D75LE2 (2.0-3.0:1)	4:3	$L = 1.6220 \times \text{対角 (m)} - 0.0795$	$L = 2.4291 \times \text{対角 (m)} - 0.1064$
		16:9	$L = 1.7638 \times \text{対角 (m)} - 0.0795$	$L = 2.6457 \times \text{対角 (m)} - 0.1064$
	ET-D75LE3 (3.0-5.0:1)	4:3	$L = 2.4291 \times \text{対角 (m)} - 0.0958$	$L = 4.0591 \times \text{対角 (m)} - 0.1216$
		16:9	$L = 2.6457 \times \text{対角 (m)} - 0.0958$	$L = 4.4213 \times \text{対角 (m)} - 0.1216$
	ET-D75LE4 (5.0-8.0:1)	4:3	$L = 4.0591 \times \text{対角 (m)} - 0.1158$	$L = 6.4528 \times \text{対角 (m)} - 0.1013$
		16:9	$L = 4.4213 \times \text{対角 (m)} - 0.1158$	$L = 7.0315 \times \text{対角 (m)} - 0.1013$
	ET-D75LE8 (7.9-15.0:1)	4:3	$L = 6.4567 \times \text{対角 (m)} - 0.3862$	$L = 12.0945 \times \text{対角 (m)} - 0.3598$
		16:9	$L = 7.0315 \times \text{対角 (m)} - 0.3862$	$L = 13.1732 \times \text{対角 (m)} - 0.3598$
	ET-D75LE6 (1.0-1.2:1)	4:3	$L = 0.8150 \times \text{対角 (m)} - 0.0566$	$L = 0.9764 \times \text{対角 (m)} - 0.0736$
		16:9	$L = 0.8858 \times \text{対角 (m)} - 0.0566$	$L = 1.0630 \times \text{対角 (m)} - 0.0736$
	ET-D75LE10 (1.4-1.8:1)	4:3	$L = 1.1425 \times \text{対角 (m)} - 0.0857$	$L = 1.4767 \times \text{対角 (m)} - 0.1085$
		16:9	$L = 1.2446 \times \text{対角 (m)} - 0.0857$	$L = 1.6086 \times \text{対角 (m)} - 0.1085$
	ET-D75LE20 (1.8-2.6:1)	4:3	$L = 1.4618 \times \text{対角 (m)} - 0.0832$	$L = 2.1241 \times \text{対角 (m)} - 0.1162$
		16:9	$L = 1.5924 \times \text{対角 (m)} - 0.0832$	$L = 2.3137 \times \text{対角 (m)} - 0.1162$
	ET-D75LE30 (2.6-5.1:1)	4:3	$L = 2.1089 \times \text{対角 (m)} - 0.1131$	$L = 4.0899 \times \text{対角 (m)} - 0.1765$
		16:9	$L = 2.2972 \times \text{対角 (m)} - 0.1131$	$L = 4.4552 \times \text{対角 (m)} - 0.1765$
	ET-D75LE40 (5.0-8.0:1)	4:3	$L = 4.0379 \times \text{対角 (m)} - 0.1577$	$L = 6.4377 \times \text{対角 (m)} - 0.1615$
		16:9	$L = 4.3985 \times \text{対角 (m)} - 0.1577$	$L = 7.0126 \times \text{対角 (m)} - 0.1615$
固定 焦点 レンズ	ET-D75LE5 (0.8:1)	4:3	$L = 0.6220 \times \text{対角 (m)} - 0.0835$	
		16:9	$L = 0.6772 \times \text{対角 (m)} - 0.0835$	
	ET-D75LE50 (0.8:1)	4:3	$L = 0.6202 \times \text{対角 (m)} - 0.0713$	
		16:9	$L = 0.6755 \times \text{対角 (m)} - 0.0713$	

お知らせ

- 上記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。
- 「幾何学歪補正」、「台形補正」時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

取り付け工事寸法 (つづき)

単位：m

投写レンズ品番 (スローレシオ)		アスペクト比	PT-DW11K / PT-DW8300	
			投写距離 (L) 計算式	
			最短	最長
ズーム レンズ	ET-D75LE1 (1.5-2.0:1)	16:9	$L = 1.3504 \times \text{対角 (m)} - 0.0760$	$L = 1.8031 \times \text{対角 (m)} - 0.1004$
	(2.0-2.7:1)	4:3	$L = 1.6496 \times \text{対角 (m)} - 0.0760$	$L = 2.2047 \times \text{対角 (m)} - 0.1004$
	ET-D75LE2 (2.1-3.1:1)	16:9	$L = 1.8110 \times \text{対角 (m)} - 0.0795$	$L = 2.7126 \times \text{対角 (m)} - 0.1064$
	(2.7-4.1:1)	4:3	$L = 2.2165 \times \text{対角 (m)} - 0.0795$	$L = 3.3228 \times \text{対角 (m)} - 0.1064$
	ET-D75LE3 (3.1-5.2:1)	16:9	$L = 2.7126 \times \text{対角 (m)} - 0.0958$	$L = 4.5315 \times \text{対角 (m)} - 0.1216$
	(4.1-6.9:1)	4:3	$L = 3.3228 \times \text{対角 (m)} - 0.0958$	$L = 5.5472 \times \text{対角 (m)} - 0.1216$
	ET-D75LE4 (5.2-8.2:1)	16:9	$L = 4.5315 \times \text{対角 (m)} - 0.1158$	$L = 7.2087 \times \text{対角 (m)} - 0.1013$
	(6.9-11.0:1)	4:3	$L = 5.5472 \times \text{対角 (m)} - 0.1158$	$L = 8.8228 \times \text{対角 (m)} - 0.1013$
	ET-D75LE8 (8.2-15.4:1)	16:9	$L = 7.2087 \times \text{対角 (m)} - 0.3862$	$L = 13.5039 \times \text{対角 (m)} - 0.3598$
	(10.9-20.5:1)	4:3	$L = 8.8228 \times \text{対角 (m)} - 0.3862$	$L = 16.5354 \times \text{対角 (m)} - 0.3598$
	ET-D75LE6 (1.0-1.2:1)	16:9	$L = 0.9094 \times \text{対角 (m)} - 0.0566$	$L = 1.0906 \times \text{対角 (m)} - 0.0736$
	(1.4-1.6:1)	4:3	$L = 1.1142 \times \text{対角 (m)} - 0.0566$	$L = 1.3346 \times \text{対角 (m)} - 0.0736$
	ET-D75LE10 (1.4-1.9:1)	16:9	$L = 1.2759 \times \text{対角 (m)} - 0.0857$	$L = 1.6491 \times \text{対角 (m)} - 0.1085$
	(1.9-2.5:1)	4:3	$L = 1.5620 \times \text{対角 (m)} - 0.0857$	$L = 2.0190 \times \text{対角 (m)} - 0.1085$
	ET-D75LE20 (1.8-2.7:1)	16:9	$L = 1.6324 \times \text{対角 (m)} - 0.0832$	$L = 2.3720 \times \text{対角 (m)} - 0.1162$
	(2.5-3.6:1)	4:3	$L = 1.9986 \times \text{対角 (m)} - 0.0832$	$L = 2.9040 \times \text{対角 (m)} - 0.1162$
ET-D75LE30 (2.7-5.2:1)	16:9	$L = 2.3550 \times \text{対角 (m)} - 0.1131$	$L = 4.5673 \times \text{対角 (m)} - 0.1765$	
(3.6-6.9:1)	4:3	$L = 2.8833 \times \text{対角 (m)} - 0.1131$	$L = 5.5917 \times \text{対角 (m)} - 0.1765$	
ET-D75LE40 (5.1-8.2:1)	16:9	$L = 4.5092 \times \text{対角 (m)} - 0.1577$	$L = 7.1891 \times \text{対角 (m)} - 0.1615$	
(6.8-10.9:1)	4:3	$L = 5.5206 \times \text{対角 (m)} - 0.1577$	$L = 8.8016 \times \text{対角 (m)} - 0.1615$	
固定 焦点 レンズ	ET-D75LE5 (0.8:1)	16:9	$L = 0.6929 \times \text{対角 (m)} - 0.0835$	
	(1.0:1)	4:3	$L = 0.8504 \times \text{対角 (m)} - 0.0835$	
	ET-D75LE50 (0.8:1)	16:9	$L = 0.6925 \times \text{対角 (m)} - 0.0713$	
	(1.0:1)	4:3	$L = 0.8479 \times \text{対角 (m)} - 0.0713$	

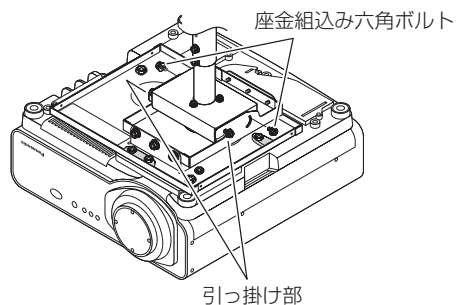
お知らせ

- 上記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。
- 「幾何学歪補正」、「台形補正」時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

取り外し方

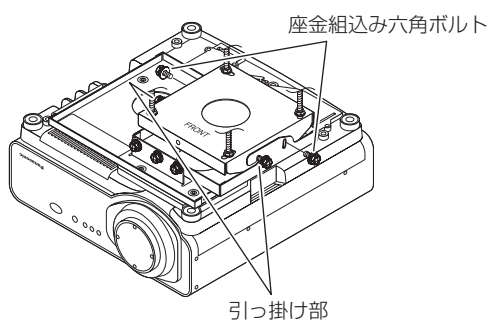
プロジェクターを取り外す

・高天井用天つり金具の場合



- ① 座金組み込み六角ボルト 2 本を取り外す。
- ② 左右の六角ボルトを少し緩め、角度調整金具の引っ掛け部からセットを取り外す。

・低天井用天つり金具の場合



お願い

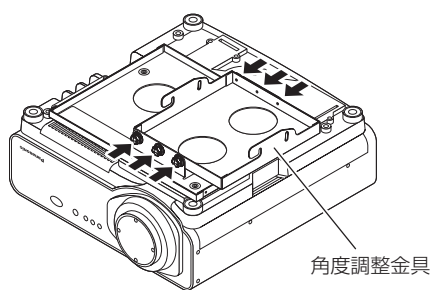
- 座金組み込み六角ボルトを緩めすぎないようにしてください。



警告



取り外し作業は 2 人以上で行う



- ③ 角度調整金具の座金組み込み六角ボルト 6 本をプロジェクター取り付け金具から外し、角度調整金具を取り外す。

お願い

- 取り外した座金組み込み六角ボルトと角度調整金具は再度使用します。

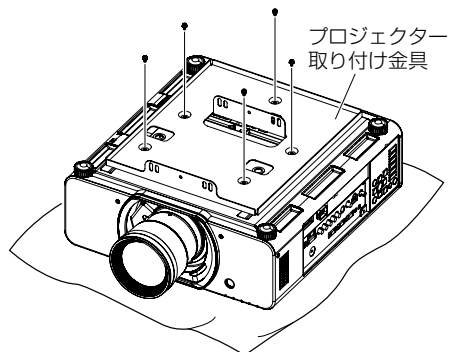
お願い

- 使い終わったセットとプロジェクター取付金具は適切に廃棄をお願いします。

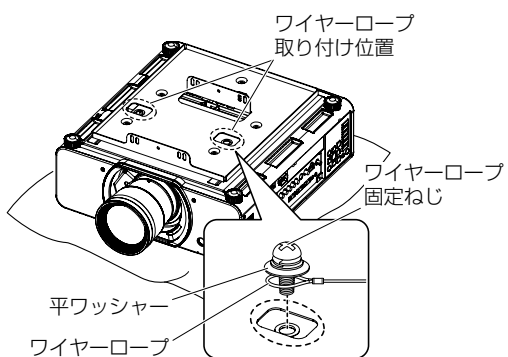
取り付け方

プロジェクターへの金具の取り付け

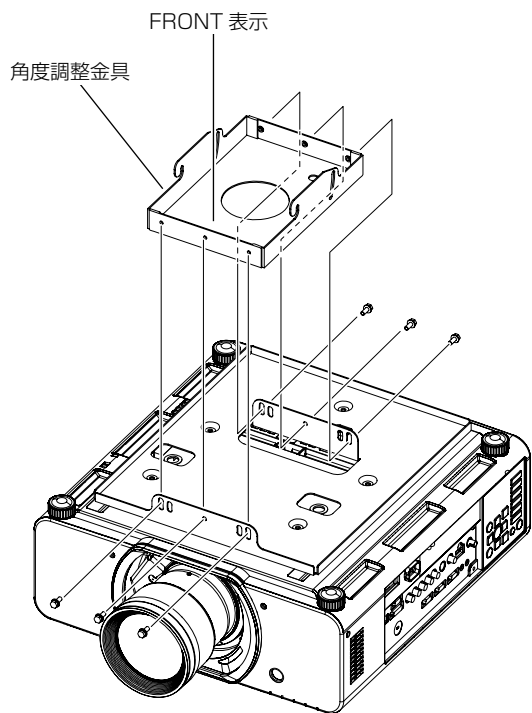
プロジェクター（別売品）へ天つり金具の各部品を取り付けます。



- ① 柔らかい布等の上に、プロジェクターの底面を上にして置く。
- ② プロジェクターの底面に、左図のように本製品プロジェクター取り付け金具を付属の座金組み込み六角ボルト (M6 × 16) 5本でしっかりと固定する。



- ③ 付属のワイヤーロープ固定ねじ (M6 × 20) に、平ワッシャーを通す。
- ④ 同ワイヤーロープ固定ねじに、付属のワイヤーロープを通す。
- ⑤ ワイヤーロープ固定ねじをプロジェクター本体に取り付けて締めつける。
 - 2か所とも同じ手順で取り付けてください。



- ⑥ 先ほど取り外した角度調整金具を、同様に取り外した六角ボルト6本でプロジェクター取り付け金具に固定する。

お願い

- 13 ページに記載の設置角度調整後、六角ボルトを計6か所ともしっかりと締めつけてください。

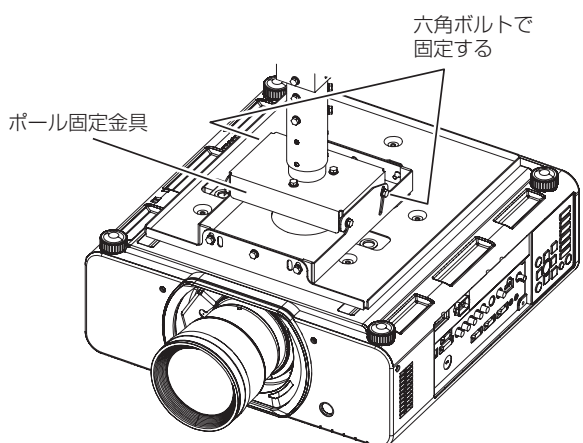
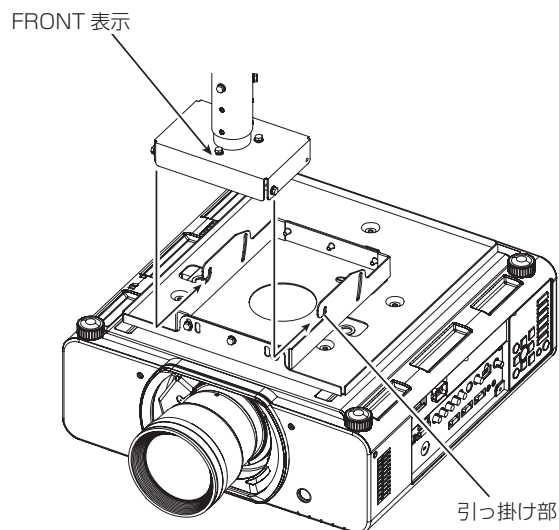
お知らせ

- 以降、イラスト上はワイヤーロープの表記を省略しています。

取り付け方 (つづき)

プロジェクターをつり下げる

・高天井用天つり金具の場合



① 左右の座金組み込み六角ボルトに、角度調整金具の引っ掛け部をはめ込む。

お願い

- 仮止めする座金組み込み六角ボルトは、ねじ山がしっかりとナットにかかっていることを確認してください。
- 座金組み込み六角ボルトが角度調整金具の引っ掛け部にはまり込むまでは、手を離さないでください。

警告



取り付け・設置作業は2人以上で行う

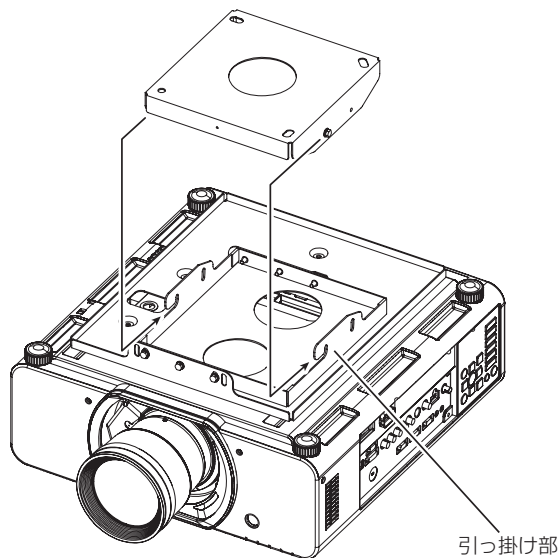
② 左図のように、取り外した座金組み込み六角ボルト (M6 × 16) 2本でポール固定金具と角度調整金具を固定する。

お願い

- 13ページに記載の設置角度調整後、六角ボルトを計4か所ともしっかりと締めつけてください。

取り付け方 (つづき)

・低天井用天つり金具の場合



① 左右の座金組み込み六角ボルトに、角度調整金具の引っ掛け部をはめ込む。

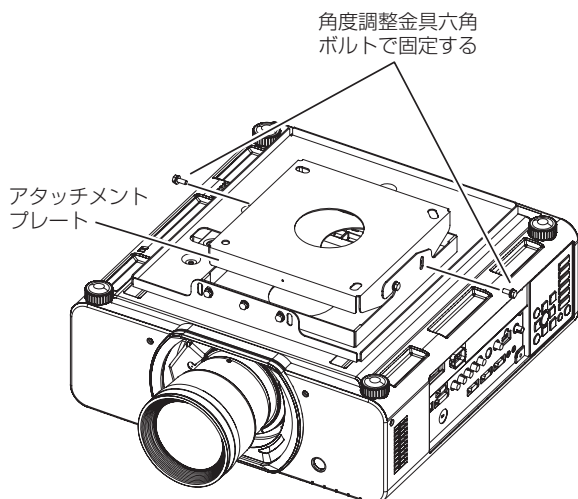
お願い

- 仮止めする座金組み込み六角ボルトは、ねじ山がしっかりとナットにかかっていることを確認してください。
- 座金組み込み六角ボルトが角度調整金具の引っ掛け部にはまり込むまでは、手を離さないでください。

警告



取り付け・設置作業は2人以上で行う



② 左図のように、取り外した座金組み込み六角ボルト (M6 × 16) 2本でアタッチメントプレートと角度調整金具を固定する。

お願い

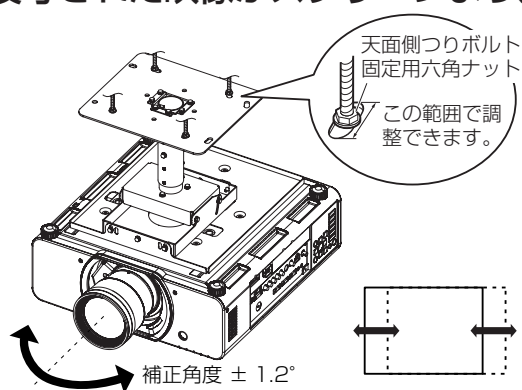
- 13ページに記載の設置角度調整後、六角ボルトを計4か所ともしっかりと締めつけてください。

設置角度の調整

- 天つり金具には、上下左右の回転調整や左右の首振り調整機能があります。レンズセンターがスクリーン面と直角になるように調整してください。
- プロジェクターの取扱説明書を参照のうえ、プロジェクターから映像を投写し、画面サイズとフォーカスの仮調整をしてから角度調整を始めてください。

高天井用天つり金具の場合

■ 投写された映像がスクリーンより左または右にずれている場合の調整

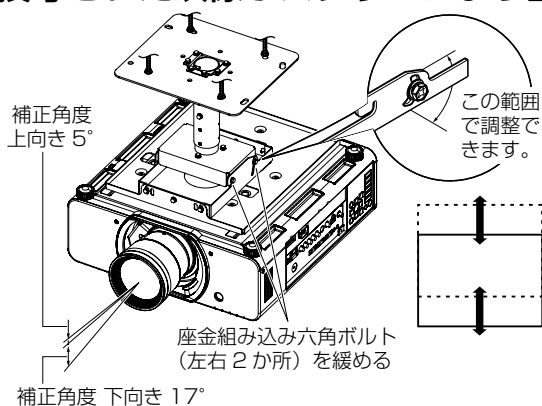


- ① アタッチプレートの天面側のつりボルト固定用六角ナット（4 か所）を緩めて、プロジェクター本体を左右に動かして映像センターとスクリーンセンターが垂直線上で合うように調整する。

お願い

- スクリーン中心とプロジェクター中心が正対しない場合はレンズシフトを使用して調整ください。
- ② 映像位置が合ったところでつりボルト固定用六角ナットを4 か所ともしっかりと締めつける。

■ 投写された映像がスクリーンより上または下にずれている場合の調整

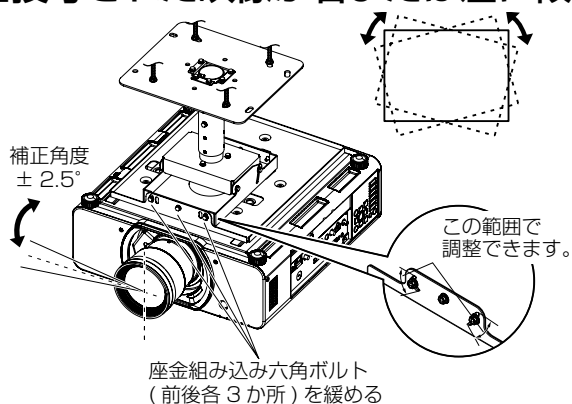


- ① ポール固定金具と角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルト（左右各2 か所）を緩め、プロジェクターの後部を上下に動かして、映像位置がスクリーンに合うように調整する。
- ② 映像位置が合ったところで、座金組み込み六角ボルトを4 か所ともしっかりと締めつける。

お願い

- ポール固定金具と角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルトは、緩めすぎないでください。緩めすぎるとプロジェクター本体が落下する場合があります。

■ 投写された映像が右または左に傾いている場合の調整



- ① プロジェクター取り付け金具と角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルト（前後各3 か所）を緩め、プロジェクター本体を回転させて、映像が傾かない位置に調整する。
- ② 映像の傾きが合ったところで、座金組み込み六角ボルトをしっかりと締めつける。

お願い

- プロジェクター取り付け金具と角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルトは、緩めすぎないでください。緩めすぎるとプロジェクター本体が落下する場合があります。

お願い

- 設置角度の調整確認後、4 ページ記載の所定のトルクで締めつけられていることを確認してください。

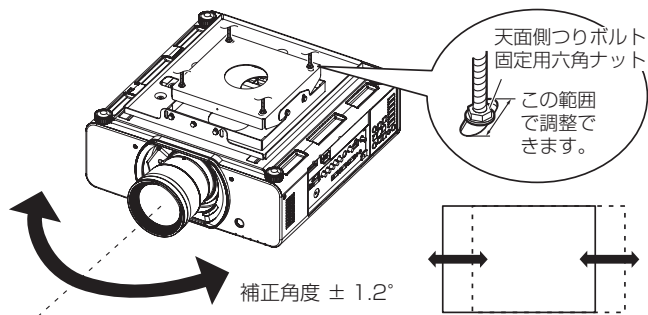
お知らせ

- 設置角度の調整をした後も映像に垂直台形ひずみがある場合は、スクリーンとプロジェクターの位置関係がずれています。スクリーンとプロジェクターが正対して設置されているか確認してください。またはプロジェクター側で台形補正を行ってください。

設置角度の調整 (つづき)

低天井用天つり金具の場合

■ 投写された映像がスクリーンより左または右にずれている場合の調整

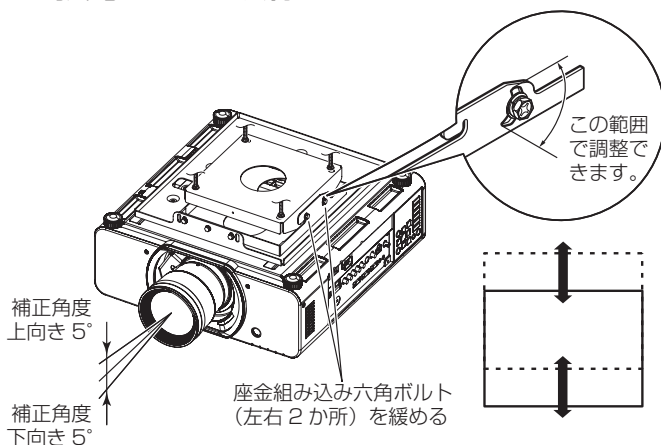


- ① アタッチプレートの天面側のつりボルト固定用六角ナット (4 か所) を緩めて、プロジェクター本体を左右に動かして映像センターとスクリーンセンターが垂直線上で合うように調整する。

お願い

- スクリーン中心とプロジェクター中心が正対しない場合はレンズシフトを使用して調整ください。
- ② 映像位置が合ったところでつりボルト固定用六角ナットを 4 か所ともしっかりと締めつける。

■ 投写された映像がスクリーンより上または下にずれている場合の調整

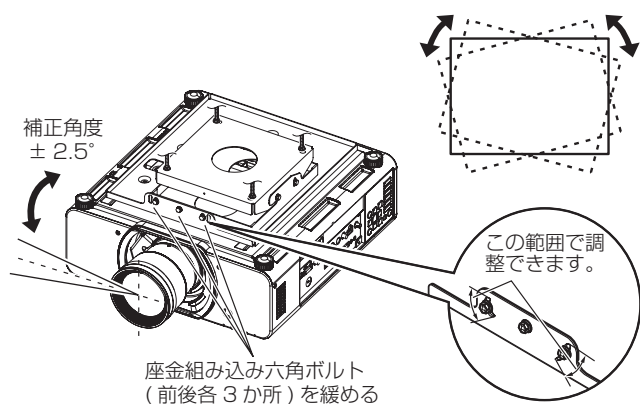


- ① アタッチプレートと角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルト (左右各 2 か所) を緩め、プロジェクターの後部を上下に動かして、映像位置がスクリーンに合うように調整する。
- ② 映像位置が合ったところで、座金組み込み六角ボルトを 4 か所ともしっかりと締めつける。

お願い

- アタッチプレートと角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルトは、緩めすぎないでください。緩めすぎるとプロジェクター本体が落下する場合があります。

■ 投写された映像が右または左に傾いている場合の調整



- ① プロジェクター取り付け金具と角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルト (前後各 3 か所) を緩め、プロジェクター本体を回転させて、映像が傾かない位置に調整する。
- ② 映像の傾きが合ったところで、座金組み込み六角ボルトをしっかりと締めつける。

お願い

- プロジェクター取り付け金具と角度調整金具を固定している座金組み込み六角ボルトは、緩めすぎないでください。緩めすぎるとプロジェクター本体が落下する場合があります。

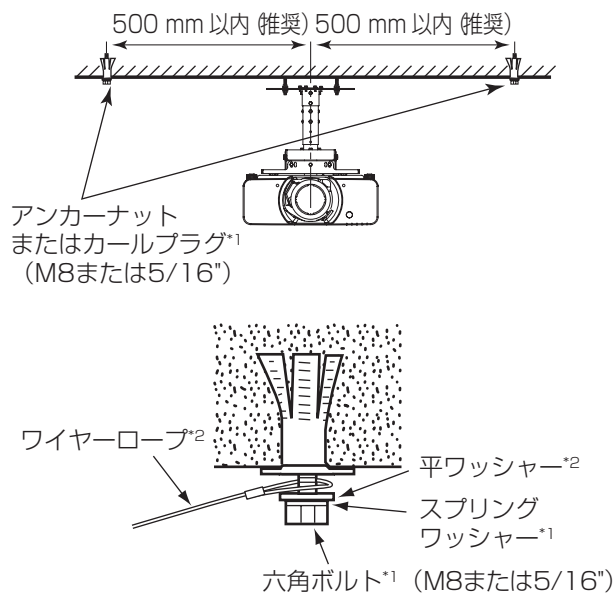
お願い

- 設置角度の調整確認後、4 ページ記載の所定のトルクで締めつけられていることを確認してください。

お知らせ

- 設置角度の調整をした後も映像に垂直台形ひずみがある場合は、スクリーンとプロジェクターの位置関係がずれています。スクリーンとプロジェクターが正対して設置されているか確認してください。またはプロジェクター側で台形補正を行ってください。

天井への落下防止セットの取り付け



*1：市販品
*2：本製品に付属

※ イラストは高天井用天つり金具を使用した場合の例です。

<工事手順>

① アンカーナットまたはカールプラグ (M8 または 5/16") を、しっかりした天井面 (左図の位置) に取り付ける。

お願い

- アンカーナットまたはカールプラグ (M8 または 5/16") の天井への取り付けは、ワイヤーロープがプロジェクター本体取り付け部と天井取り付け部の間でたるまないような位置にしてください。

② 市販の六角ボルト (M8 または 5/16") を、市販のスプリングワッシャー (M8)、付属の平ワッシャー (M8)、ワイヤーロープの先端の輪に通してアンカー部に取り付け締めつける。

お願い

- ワイヤーロープおよび平ワッシャーは、必ず本製品に付属のものを使用してください。
- アンカーナットまたはカールプラグ、六角ボルトおよびスプリングワッシャーは市販品をお求めください。

お知らせ

- プロジェクター本体へのワイヤーロープの取り付けについては、10 ページを参照してください。

仕様

外形寸法	横幅 384 mm	高さ 56 mm	奥行 447 mm
質量	約 2.9 kg		

お願い

※包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。

■廃棄について

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Corporation 2010